

東筑會報

TOCHIKU
KAIHO
2019.10.1
(令和元年)

No. 40



令和元年度 東筑会総会・懇親会を担当した当番期 89 期の皆さん

令和元年に向けて

東筑会会長

深田 高一

(62期)



東筑会同窓生の皆様には、日頃より東筑会に多大なご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。心から厚くお礼を申し上げます。
お陰様で私共役員一同、大過なく一年を経過することができました。深く感謝致しております。

令和元年度の東筑会総会・懇親会は6月8日(土)、全国から遠路お越しの方も多く、皆様のご出席を賜りまして盛大かつ有意義に開催されました。一年に一度の機会ではありますが、先輩・同輩・後輩大いに交流を深められたことと存じます。今後益々輪を広げていただき、より多数の皆様のご出席を祈念する次第です。また、当番期89期の皆様には一年間大変ご苦勞をおかけ致しました。これを機に同期の絆を一層深められ、それぞれの分野での活躍を心から祈念致します。次回90期の皆様には既に活動をいただいておりますが、より善い同窓会運営にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

母校東筑は創立121年を迎え、本年度の人事異動で、中島良博校長(76期)が県教育監へ栄転され、その後任として小倉西高等学校より第34代校長として児玉幸子校長が就任されました。また平山篤副校長・宮原優一参事兼事務局長が着任されました。

前中島校長には、その在職2年間の間に、120周年記念式典、野球部の

甲子園出場(夏・春)2回等、校是である「文武両道」の精神をつらぬき、母校のため多大なるご尽力をいただきました。皆さんとともに心からお礼申し上げますとともに、今後の益々の活躍を祈念致したいと思います。

児玉校長は明治31年6月10日初代大森藤藏校長により開校宣言されて以来、初めての女性校長としてお迎えしました。児玉校長は東筑にはご縁の深い方で、英語の教師として平成14年、24年まで当校に在職され、103期から113期の同窓生諸氏のご指導いただいております。心から歓迎致すとともに同窓会に対しても良きご指導を賜りたいと思います。

総会では、年会費(二年分二千円納入)納入金について財務委員会でご鋭意ご検討の結果、さきに幹事会にご提案(令和元年より年会費二千円)をご承認いただき、納入金のアップが期待できるものと思っております。会員の皆さまのご理解・ご協力を心からお願ひ申し上げます。

また、令和二年から体育館、校舎、同窓会館等の大規模改造に係る教育環境整備事業が計画されています。母校東筑高校の学業成績の向上と部活動の更なる発展のため、一層の努力を続けられる雄姿に接し、新しい令和元年度を迎えた母校に大いなる希望を抱き、ご挨拶と致します。

2020年度 東筑会総会：6月6日(土)

総会/15:00
懇親会/16:00

アクティブリゾーツ福岡八幡
(旧：北九州八幡ロイヤルホテル)

八幡東区枝光1-1-1 TEL (093) 662-1020

凛として大道を歩む

学校長 児 玉 幸 子



東筑会の皆様には、平素より物心両面にわたり、学校へのあたたかい御支援・御協力を賜っておりますことに心より感謝を申し上げます。私は、この春の人事異動で中島良博校長の後任として小倉西高校より赴任しました児玉幸子と申します。歴史と伝統ある東筑高校で勤務する重責をしっかりと認識し、良き伝統を受け継ぎ、さらに飛躍するために、粉骨砕身頑張る所存でございますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ご存じのように、皆様の母校の東筑高校では、昨年度創立百二十周年の大還暦の式典を無事終えることができました。その慶賀の年に花を添えるように、昨年度の生徒諸君の活躍はめざましく、進学関係では、難関の東京大学・京都大学・九州大学をはじめとする国公立大学へ合計二四六名の生徒が合格し、私立大学へは、早稲田大学・慶応大学等の難関大学をはじめ三三五名の生徒が合格しました。また、部活動では、ボート部・山岳部・生物部・囲碁部等が全国大会へ出場し、九州大会へは、野球部・陸上部・水泳部・ボート部・相撲部・空手部・ESS部・物理部・囲碁部が出場しました。まさに「文武両道」の校是を高いレベルで実現してくれたと思います。学業面では、平成二十五年度からのSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業が最終年度の完成段階に入り、生徒の高い志と探究心を育てる独自のプログラムもできあがりつつあります。

さて、今年の夏、野球部の全国高校生野球大会の

県大会では、多くの皆様の御声援をいただき、誠にありがとうございました。ノーシードながら快進撃を繰り広げ、わずかに甲子園出場はできなかったものの、県立高校で唯一、準決勝まで勝ち進むことができました。その中で、ピンチの時には必ずスタンドから、「頑張れ！東筑魂を見せろ！」と力強い声援が方々から聞こえてきて大いに励まされました。「東筑魂・一本松気質」については、第一三代藤崎弁蔵校長先生が、「豪毅朴訥。質実剛健。動かさること山の如き胆力。明朗闊達。向上進取の気性。」と表現されたと東筑八十年誌に記されていますが、その精神は、明治・大正・昭和・平成・令和と幾星霜を経ても、先輩から後輩へ脈々と受け継がれ、現在の生徒の中に生きています。とりわけ受験や公式戦等の大舞台で、窮地に追いやられた時に、「東筑魂」が大きな支えになり、数々の偉業を成し遂げてくれています。百二十年もの長きにわたり培われたこの東筑生たる気質こそが、本校のかけがえのない宝であると実感する日々です。

創立百二十一年目にあたる今年度は、このような伝統的な「東筑魂・一本松気質」を受け継ぎながら、さらに高いレベルでの「文武両道・質実剛健」を目指して、新たな一歩を踏み出そうと、職員・生徒が丸となって頑張る決意を新たにしております。「吞舟の魚は枝流に游がず。（吞舟之魚不游枝流）」と申します。これから「些事に惑わず凛として大道を歩む人材を育成する場」としての東筑高校の発展に、全力で精進して参りますので、今後も御理解・御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

東筑会会計の危機 回避に向けて!!

（会費の値上げと納入方法の変更）

財務委員長 三宅 正輝（71期）

長年の懸案であった、会費に関する事項が6月8日の総会においてご承認をいただきました。

総会での決定事項は2件です。（今年度から変更、実施されます）

1 東筑会会費を1年ごとの2,000円に上げさせていただきます。（現行は2年で2,000円）。

2 郵便局やコンビニからでも納めていただけるように納入方法を変更して、利便性を高める。（現行は郵便局からのみ）

まず会計役員の石神務氏（69期）から現状の説明がなされました。要約すると、収入が940万円余りに対して、支出は1,100万円余りと毎年約110万円の赤字で（平成27（30年平均）、基本金（現在約1,700万円）から補填している状況です。このままでは東筑会の財布は底をつき、あと17年で空っぽになるという試算が報告されました。

現状を打開するために深田会長から諮問を受け、財務委員会では金額の設定や納入率の増減させた場合における入金額の変動、納入方法の検討など、種々の検討を重ね、断腸の思いで苦渋の決断をし、答申書にまとめ会長に報告しました。

役員会、幹事会での議決を経て、令和元年6月8日の東筑会総会でご承認をいただきました。

会員の皆様におかれましては、事情をご賢察いただき、東筑会の発展、円滑な運営のために、会費納入について今後ともより一層のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

令和元年度 総会報告

6月8日(土)、東筑高等学校同窓会がアクティブリ
ゾーツ福岡八幡(旧北九州八幡ロイヤルホテル)にて
開催されました。

午後3時から万葉の間において総会が行われ、開会
の辞に続き、深田会長、児玉学校長、樋高龍治相談役
からご挨拶を頂戴しました。その後、深田会長を議長
に選出した上で議事が進行し、平成30年度の事業報告、
収支決算ならび会計監査の報告、続いて令和元年度の
事業計画案、収支予算案の審議が行われ、すべての議
案が異議なく承認されました。続いて、児玉学校長よ
り母校の近況報告が行われました。

総会終了後の午後4時からロイヤルホールにて、懇
親会が開催されました。本年は89期が当番期を務め「選
近(めぐりあい)元年 新時代へ紡ぎ継がれる東筑
History」というテーマのもと、全国各地から参集した
千名を超える同窓生が旧交を温めました。近年の
懇親会では珍しくステージ上での合唱あり、司会を務
めた落語家の林家きく磨こと高田大輔氏の軽妙なト
クあり、と和やかに盛り上がり閉会を迎えました。

令和元年度事業計画

会則第2条(本会の目的) 達成のため、令和元年度
は下記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携、
国内ジュニアス研修の支援、卒業生による講演会の講師
協力、図書館の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第40号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備

令和元年度 一般会計予算書

(収 入) 自 令和元年5月1日 至 令和2年4月30日 (単位:円)

項 目	予 算	備 考
繰 越 金	1,163,482	
入 会 金	4,368,000	4,800×910人(118・119・120期)
会 費	8,000,000	2,000×4000人
基 本 金 以 外	0	
雑 収 入	30,000	預金利息他
計	13,561,482	

(支 出)

項 目	予 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(90期)へ
会 議 費	130,000	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	180,000	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,400,000	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	450,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	270,000	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	90,000	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	740,000	電話・電気料、通信費、プロバイダー料、 コピー機リース料、事務室使用料、 HPサーバー料
振 替 手 数 料	800,000	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局員
教育振興費	2,100,000	母校教育振興・定期野球大会・ ジュニアス研修補助金・図書館の充実
120周年事業費引当金	300,000	記念式典費用
基 本 金	2,000,000	基本金会計へ
予 備 費	451,482	
計	13,561,482	

平成30年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 深 田 高 一 殿

このことについて、下記の通り報告します。

記

平成30年度「東筑会一般会計」・「東筑会基本金会計」について、
出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されている
ことを認めます。

令和元年5月8日

会計監査 筒 井 信 秋 ㊞
会計監査 末 次 啓 子 ㊞

平成30年度 一般会計決算書

(収 入) 自 平成30年5月1日 至 平成31年4月30日 (単位:円)

項 目	決 算	備 考
繰 越 金	519,786	
入 会 金	4,507,200	4,800×947人(117・118・119期) 退転休学6名
会 費	1,856,000	2,000×926人・1,000×4人
基 本 金 以 外	5,115,560	
雑 収 入	784,764	会員名簿、88期より632,750円 120周年記念誌、預金利息他
計	12,783,310	

(支 出)

項 目	決 算	備 考
総 会 費	1,000,000	当番期(89期)へ
会 議 費	145,922	議案書、各種会議案内状等
記 念 品 費	178,092	卒業証書入れ(アルバム式)
会 報 費	3,501,105	会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料
慶 弔 費	445,000	各地区東筑会、学校行事祝儀等
旅 費 交 通 費	365,580	各地区東筑会総会出席
会 館 管 理 費	59,220	休祝日、時間外手当
事 務 局 費	722,962	電話・電気料、通信費、プロバイダー料、 コピー機リース料、事務室使用料、 HPサーバー料、コピー機トナー
振 替 手 数 料	100,904	会費振込手数料
賃 金	1,650,000	事務局
教育振興費	1,951,043	母校教育振興・定期野球大会・ 生徒派遣補助金・図書館の充実
120周年事業費引当金	1,500,000	
基 本 金	0	
予 備 費	0	
計	11,619,828	

平成30年度 基本金会計決算書

(収 入) 自 平成30年5月1日 至 平成31年4月30日 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
繰 越 金	21,625,902	
繰 入 金	-5,115,560	一般会計へ
雑 収 入	2,697	3,021(預金利息)-324(残高証明書)
計	16,513,039	次年度へ繰越

当番期を終えて

89期会長 柴田 健彦

去る6月8日の総会・懇親会におきましては、母校東筑高等学校をはじめ、多くの皆様のお力添えにより、無事盛会に終えることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年の6月に伝統の襷を引き継いだ時には、私達にも歴代の先輩のように立派に当番期を務めることが出来るのだろうかと不安な気持ちで一杯でした。

当番期活動を行うにあたって、不慣れな私達にあたたい言葉をかけていただいた東筑会役員の方々と、学校関係者の皆様、本当にお世話になりました。全国16か所の地域東筑会では、どの地域でも多くの同窓の皆様にお会いし、沢山の励ましの言葉をいただきました。東筑会への思いに触れたことで、日増しに「当番期」としての思いが強くなり、徐々に自信を深めていくことができました。本当

にありがとうございました。今年のテーマは「邂逅元年」でしたが、これは、「これまで連絡と続いているこの同窓会という場の素晴らしさを改めて見つめなおし、次世代へと引き継いでいこう」というコンセプトでした。総会の日が近づくにつれて、全国から届く同期からの参加表明の声。同期の大半が卒業以来約30年ぶりに会う人でしたが、当番期に対する思い、愛校心を肌で言葉でそして態度で感じる事ができました。当日は、130人もの同期が集まりましたが、皆が適材適所で精一杯務めることが出来たのではないかと思っています。会の終了時には「お疲れ様」「ありがとう」という声が飛び交いました。心の底から本気でこういう言葉を言い合えたことはとても素晴らしいことだと思えました。

引き継いだ当初は、「当番期は、歴史を感じさせる木枠の窓、硬い石の廊下、ワックスが塗りこめられた木の床の教室。小さくも趣ある中庭の樹木に囲まれ、人生の長きに比べれば一瞬ともいえる儚き青春時代を、私たちは確かに、同じ黒板を見つめ、わずかに三年、されど三年、濃密な時空を共に過ごし卒業しました。当番期を迎え、同期の仲間たちと再会することで、当時の鮮やかな記憶、しばし忘れていた猛き情熱のようなモノまでもが蘇ってきています。

時は流れ、令和の世が始まり、時代は刻々と新たな形へ進化と変化を繰り返しています。先輩方が大切に紡いで来られた先輩方が大切に紡いで来られた

当番期を迎えて

90期会長 小野山 美緒

令和元年6月8日。母校愛溢れる先輩方が代々受け継いでこられた伝統の「襷」を、89期柴田健彦会長より、優しく温かい激励の言葉と共に、この頼りない小さな肩にお預かりしました。ついに、とうとう、やって来た当番期。今はまだそのスタート地点に立つばかりですが、本当に身の引き締まる思いでいっぱいです。

遡ること約三十年前。我々90期は、日本中が静かに厳かに迎えた新元号「平成」の始まりと共に、福岡県立東筑高等学校の名の刻まれた石碑に見守られながら、誇らしげな気持ちで正門前の石段を登り、「東筑生」としての第一歩を踏み出しました。

歴史を感じさせる木枠の窓、硬い石の廊下、ワックスが塗りこめられた木の床の教室。小さくも趣ある中庭の樹木に囲まれ、人生の長きに比べれば一瞬ともいえる儚き青春時代を、私たちは確かに、同じ黒板を見つめ、わずかに三年、されど三年、濃密な時空を共に過ごし卒業しました。当番期を迎え、同期の仲間たちと再会することで、当時の鮮やかな記憶、しばし忘れていた猛き情熱のようなモノまでもが蘇ってきています。

時は流れ、令和の世が始まり、時代は刻々と新たな形へ進化と変化を繰り返しています。先輩方が大切に紡いで来られた先輩方が大切に紡いで来られた

◆ 第36回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

令和元年5月10日、宮若市にあるザ・クラシックゴルフ倶楽部にて第36回東筑会ゴルフ大会が開催されました。

当日は、晴天に恵まれ49期から95期の同窓生202人が参加され盛況な大会となりました。

団体戦では、各チーム上位4名のネット合計で競われ、ネット合計293.0の成績で69期・70期チーム（石神務氏、荒井泰雅氏、濱中聡生氏、深堀和雄氏）が優勝され、6月8日の東筑会総会・懇親会では優勝トロフィが授与され表彰されました。

個人戦では、4つの部門で上位3名と参加者全体で各賞の表彰がされました。

また、ベストグロス賞では、82歳の戸坂武史氏（54期）がスコア81ストロークでプレーされ、エイジシュートを達成されております。

【団体戦】（敬称略）

- 優勝 69期・70期（石神務、荒井泰雅、濱中聡生、深堀和雄）
準優勝 49期・51期・53期（井上達之助、岡部章、坂田二郎、石井淳二）
3位 65期（岩崎孝徳、八山哲夫、藤澤泰尊、田平知博）

【個人戦】

●グランドシニアの部（～65期）

- 優勝 井上達之助（51期）
準優勝 深川 吉勝（61期）
3位 戸坂 郁男（60期）

●シニアの部（66期～75期）

- 優勝 田中 哲司（67期）
準優勝 大住 智也（74期）
3位 石神 務（69期）

●一般の部（76期～）

- 優勝 船津喜久男（79期）
準優勝 小野 裕和（81期）
3位 許斐 智夫（91期）

●レディースの部

- 優勝 小川三穂子（58期）
準優勝 野原 淑江（58期）
3位 松尾 薫枝（60期）

●ベストグロス賞（81ストローク）

- 戸坂 武史（54期）

ご参加された方々をはじめ東筑同窓生皆様のご協力のおかげで、第36回東筑会ゴルフ大会は、無事に終了することができました。感謝申し上げます。大会の運営については、まさにゴルフの原点である「あるがまま」の精神でお手伝いさせていただきました。また今後は、後輩のサポートをしながら、ゴルフを通じて東筑魂の伝統を引き継いで参ります。

（89期ゴルフ委員長 早川信二）



SNSを活用し東筑会の輪を拡げよう

組織委員長 日高 教夫 (64期)

今東筑高校が大変なんです。

少子化の波が東筑高校まで押し寄せて、今年度より入学者定員が320名から280名にまたも減少されました。

北九州地区の私学高とのバランスを取るためと言われていますが、はたして20年後、30年後東筑同窓会に入会する人が少なくなり、東筑会組織の維持ができるのか？非常にむずかしくなるのではと予想せざるを得ません。今でさえ同窓会費を納入する会員が年々少なくなっており、会費の値上げを皆さんにお願いすることになりました。現在東筑会はホームページを設けていますが、今後はフェイスブックやツイッター等も活用し、全国の同窓生に情報を発信していければと思っています。

組織委員会のメンバーは副委員長吉松秀雄(78期)、竹内容子(76期)、松尾康徳(84期)、三原朝利(94期)です。5名で今年度ががんばって行きます。よろしく！

東筑同窓の絆を深める会報に

会報委員長 青野 元昭 (70期)

東筑会関係の皆様方には、東筑会報40号の内容充実のために、様々な立場から積極的な投稿をいただき、深く感謝しています。

本誌「東筑会報」では、主に

○令和元年6月実施の総会報告

○東筑会奨学会 支援のお願い

○活気に満ちた現在の東筑高校の「文武両道」の様子

○「各地区東筑会だより」での全国にある東筑同窓会の紹介

○「各期だより」同期の強い絆(最高齢は39期の先輩)

等をお伝えしていきたいと思っています。

会報への投稿は年々増えてきており、東筑同窓の強い絆を感じているところです。

会報委員会のメンバーは、私他、貞末敏郎(57期)、柳本昭子(76期)、石井紀子(81期)の3名の委員です。皆様方に東筑会の活気や活力を感じていただき、また、更に読みやすい紙面になりますように、会報委員で協力していきたいと思っています。引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

総会でご承認をいただきました(会費の値上げと納入方法の変更)

財務委員長 三宅 正輝 (71期)

会費に関する事項が6月8日の総会においてご承認をいただきました。総会での決定事項は本紙2面下段にありますように2件です。(今年度から変更、実施されます)

1 東筑会会費を1年ごとの2,000円に上げさせていただきます(現行は2年で2,000円)。

2 郵便局やコンビニからでも納めていただけるように、納入方法を変更して利便性を高める。(現行は郵便局からのみ)

「2月初めまでに答申書をまとめるように。」と昨年12月初めに指示を受け、不慣れな分野でそれぞれが本業を抱えて、年末年始の多忙な中、委員の皆さんはハードな仕事をこなしていただきました。

財務委員会が納入方法や金額、納入率の増減を考慮に入れた入金額等の検討を重ね、答申書をまとめ、役員会・幹事会で承認され、総会で可決されました。

メンバーは次の方々です。記して感謝の気持ちを表したいと思います。東筑会…平田龍司幹事長(69期)、石神務(69期)、藤澤泰尊(65期)財務委員会…三宅正輝(71期)、林良彦(71期)、中野優子・吉田真理子(72期)、加来千里(79期)

お問い合わせ、ご意見は東筑会事務局までご連絡なくお寄せください。(電話 093-160316815 東筑会事務局)

平成29・30年度 年会費納入状況

平成31年4月30日現在

期	29年度	30年度	期	29年度	30年度	期	29年度	30年度	期	29年度	30年度
28	1		50	84	25	72	63	17	94	13	8
29		1	51	93	22	73	57	19	95	19	8
30			52	72	18	74	52	32	96	20	7
31			53	88	18	75	43	11	97	18	6
32	1		54	112	19	76	60	16	98	20	8
33			55	84	12	77	45	21	99	16	5
34			56	110	29	78	52	13	100	20	3
35	1		57	134	21	79	35	11	101	20	1
36			58	113	27	80	30	13	102	19	4
37	1		59	118	26	81	36	13	103	23	7
38	3		60	93	22	82	46	18	104	2	14
39	4	1	61	60	22	83	27	8	105	1	
40	5	2	62	97	18	84	46	11	106		
41	1		63	105	23	85	43	14	107		
42	11	3	64	85	16	86	30	14	108		
43	3	2	65	86	24	87	57	6	109	1	
44	11	1	66	81	19	88	57	18	110		
45	14	2	67	76	22	89	20	31	111	1	
46	19	3	68	81	21	90	19	40	112	1	
47	18	3	69	86	26	91	17	8			
48	31	8	70	67	16	92	22	7			
49	64	13	71	68	22	93	16	13	計	3,248	932

○平成27・28年度納入4,120人 ○平成29・30年度納入4,181人
◎令和元年度から105期生の年会費納入が開始されます。

母校合格近況

令和元年度合格者

国立大	200	準大	8
北海道大	2	防衛大	
筑波大	3	海上保安大	4
東京大	1	海上保安学校	1
東京工業大	1	水産大	2
お茶の水女子大	1	私立大	385
横浜国立大	3	青山学院大	2
信州大	1	上智大	1
京都大	9	慶応大	3
大阪大	5	国際基督教大	1
神戸大	2	中央大	5
奈良女子大	1	津田塾大	3
岡山大学	2	東京理科大	15
広島大	6	日本大	3
山口大	14	法政大	8
福岡教育大	10	明治大	5
九州大	54	立教大	1
九州工業大	17	早稲田大	7
佐賀大	9	京都女子大	3
長崎大	15	同志社大	18
熊本大	23	立命館大	34
大分大	5	関西大	2
宮崎大	2	関西学院大	7
鹿児島大	9	近畿大	8
その他国立大	5	久留米大	2
公立大	46	西南学院大	1
国際教養大	1	九州産業大	80
名古屋市立大	1	福岡大	12
神戸市外国語大	1	産業医科大	81
大阪府立大	1	その他の私立大	83
山口東京理科大	4		
下関市立大	2		
北九州市立大	16		
九州歯科大	8		
福岡女子大	5		
福岡県立大	2		
その他の公立大	5		

公益財団法人

東筑奨学会 支援のお願い

会員の皆様には平素から東筑奨学会に対して多大なるご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、公益財団法人「東筑奨学会」は、学業成績が特に優れた生徒の範となるもの、部活動で全国大会優勝・出場またはこれに準ずる成績をあげたもの、或いは、向学心に燃えながらも経済的理由等により苦慮している生徒たちに奨学金を支給し、教育の振興に寄与することを目指しています。

ご存知のとおり、その財源につきましては預金利子と皆様方のご寄付で成り立っておりますが、近年の低金利等の影響を受け、最近では、奨学金支給額が約300万円に対して預金利子と寄附金の合計金額が約200万円という状況で、基金が少しずつ減少し、円滑な奨学金支給が難しい状態になってきています。こうした状況をご理解のうえ、21世紀を担う有徳の青年育成を目指す東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、更なる発展、活躍を期するため、多くの皆様方のご理解とご協力をお願いいたしております。

また、当会は平成27年4月1日から「公益財団法人」としてスタートし、ご寄付いただいた方には本奨学会が発行する領収

※奨学金基金へのご寄付は、左記口座へ振込みくださいますようお願い申し上げます。

福岡銀行	折尾支店
普通預金	1321864
西日本シティ銀行	折尾支店
普通預金	1735106
遠賀信用金庫	折尾支店
普通預金	1129508
福岡ひびき信用金庫	折尾支店
普通預金	1238299
振込口座名	
公益財団法人 東筑奨学会	
代表理事 高山和幸	

平成30年度寄付者(敬称略)

- 堀下富士雄(母校前事務長)
- 東筑高校PTA
- 東筑高校母の会
- 東筑総会時
- 東筑ゴルフ大会時
- 東海東筑会 2期分
- 関西東筑会
- 広島東筑会
- 岡垣東筑会
- 中間東筑会
- フレンドリー戦手町東筑会
- 北九州くきのうみ東筑会
- 水巻東筑会
- ひのくに東筑会
- 高嶋康年(49期)2期分
- 高山和幸(56期)前東筑会会長
- 小宮 薫(56期)
- 匿名希望(59期)
- 廣田貴子(65期)
- 大曲慎一(93期)
- 三原征彦(61期)
- 柴田裕二(78期)

1,013,931円

あと一步届かず

第29回 小倉・東筑高校定期野球大会

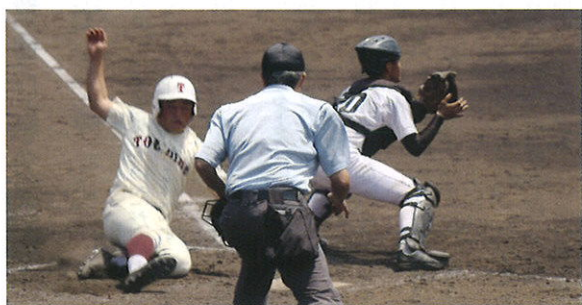
東筑 10010000136
小倉 0210101300x7

令和元年6月6日(木)、梅雨入り間近とは思われない快晴の空のもと、29回目の定期戦が昨年に引き続き北九州市民球場において行われました。(昨年は本校が当番でしたが、創立記念の大会だったため北九州市民球場での開催でした。)

前半は好機にタイムリーが出せずリードを許す展開となりましたが、選手も応援スタンドも終盤まで諦めることなく粘り強く戦いました。最終

回も4番和久田君の3ランホームランで1点差とし、その後も一打同点の場面までもつれ込みましたが、あと一步届きませんでした。また、3番手としてピンチの場面から登板した3年生藤原君が小倉打線をきっちり抑えたことは、夏の大会への明るい材料となりました。

これで対戦成績は、13勝15敗1分となりました。



粘り強く戦い抜いた東筑



東筑伝統の大応援

各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)
(令和元年7月30日現在)

〈書道部〉

- ・平成30年度第33回県高校総合文化祭揮毫大会 特選

〈総合部(空手道)〉

- ・平成30年度県新人大会
女子個人形 3位
- ・令和元年度県選手権大会
女子個人形 2位
- ・令和元年度全九州競技大会
女子個人形 ベスト8
- ・令和元年度全国高校総体選手権大会
女子個人形 出場

〈陸上部〉

- ・第40回県高校新人大会
男子三段跳 3位
女子三段跳 3・4位
- ・第72回全国高校対校選手権大会
男子走幅跳 8位
4×100mR 出場
女子三段跳 5位
4×100mR 5位
4×100mR・4×400mR 出場
- ・第5回県高校学年別大会
男子A110JH 出場
女子A走幅跳 4位

〈ラグビー部〉

- ・第98回全国高校大会県予選
ベスト4
- ・第41回全九州高校新人大会県予選
3位
- ・第72回全九州高校大会県予選
ベスト8
- ・サニックスワールドユース交流大会2019女子セブンズ
優勝(1名参加)
- ・第98回全国高校大会「U18花園女子15人制」に1名選抜で参加

〈囲碁部〉

- ・第12回全国高校囲碁選抜大会
全国大会 男子団体 出場
- ・第43回全国高校囲碁選手権大会
福岡県大会
男子個人 優勝
男子団体 2位

〈物理部〉

- ・平成30年度九州高校理科学徒研究発表大会 佐賀大会 優良賞
- ・第33回県総合文化祭物理研究発表
優秀賞
- ・第33回県総合文化祭自然科学部門
ポスター発表 FIT賞

〈バスケットボール部〉

- ・平成30年度県高校新人大会
女子ベスト8 男子ベスト16
- ・平成31年度県高校総体
男子出場
男子出場

〈水泳部〉

- ・平成30年度県選手権新人大会
女子200m自由形 7位
- ・平成30年度第80回末広杯全九州選手権新人大会
男子200m・100m・50mバタフライ 出場
女子400mMR・200m自由形・100m自由形・100m平泳ぎ 出場
- ・2019年度第41回県春季選抜選手権大会
女子200m平泳ぎ 2位
100m平泳ぎ 4位
- ・2019年度県高校総体選手権大会
女子200m平泳ぎ 2位
100m平泳ぎ 4位
- ・2019年度全九州高校体育大会
第66回全九州競技大会
女子800mR・200m平泳ぎ・100m平泳ぎ 出場

〈弓道部〉

- ・平成30年度県高校新人大会
女子個人 出場
- ・平成31年度県高校総体
男子個人 出場

〈剣道部〉

- ・令和元年度県高校総体県大会
男子団体 出場
- ・令和元年度玉竜旗大会
男子1回戦・女子2回戦 出場

〈ESS部〉

- ・第14回九州地区高校英語ディベート大会(長崎大会) 優勝
- ・第17回県高校英語ディベート大会
準優勝

- ・平成30年度第71回全日本選手権大会
ベスト8
- ・平成30年度県高校新人大会 出場
- ・2019年度県高校総体 出場
- ・2019年度天皇杯・皇后杯全国選手権大会 福岡県ラウンド 出場

〈吹奏楽部〉

- ・平成30年度第34回県吹奏楽コンクール
銀賞

〈新聞文芸部〉

- ・第33回県高校総合文化祭 第22回文芸専門部県大会 短歌部門
優秀賞

〈野球部〉

- ・第143回九州地区大会 ベスト8
- ・第144回九州地区大会 ベスト8
- ・第101回全国高校野球選手権大会
県ベスト4

〈柔道部〉

- ・平成30年度県高校新人大会
男子個人66kg級 出場
- ・令和元年度金鷲旗大会
男子団体 2回戦 出場

〈相撲部〉

- ・令和元年度県高校総体
男子個人80kg未満級 4位
- ・全九州大会 出場

〈演劇部〉

- ・平成30年度高文連演劇部門
北九州地区大会 優良賞
- ・平成30年度高文連演劇部門
県大会舞台美術賞
- ・令和元年度春フェスモデル上演

〈ボート部〉

- ・平成30年度全国選抜大会九州地区予選(熊本)
- ・男子ダブルスカル 3位
- ・平成30年度全国選抜大会(静岡)
男子ダブルスカル 出場
- ・令和元年度全九州高校体育大会(長崎)5種目 出場
- ・女子シングルスカル 4位
- ・令和元年度全国高校総体(熊本)4種目 出場
- ・女子シングルスカル

〈山岳部〉

- ・第9回全国高校選抜スポーツクラ
イミング選手権大会 出場
- ・令和元年度国体県予選会 出場

〈卓球部〉

- ・平成30年度県高校新人大会
男子シングルス 出場
- ・令和元年度県高校総体
シングルス・ダブルス 出場

〈写真部〉

- ・令和元年度第3回全九州高校総合文化祭
県予選 佳作

〈美術部〉

- ・第33回県総合文化祭
デザイン部門 全国大会推薦
絵画部門 特選
- ・県高文連
第32回デザインコンペ 入選

平成30年度 国内研修 大学と先端企業から学んだこと

教諭 吉塚英樹

本研修は、平成30年度よりSSH事業の一環としてではなく、学年主体の研修に大きく移行しました。よって119期としては、研修の目的を『国内の先進的な研究機関や大学、企業での研修を通して最先端の技術や社会の課題を体感し、現場で活躍する研究者や社会人との交流を通して科学的知識や思考方法を理解し、課題発見能力やコミュニケーション能力を育成する』とし、その内容を先進的な企業と先進的な研究を行っている研究機関・大学で研修と実習を行うものとなりました。

研修初日は、まず北九州から京都大学桂キャンパスに移動して、野口恭平助教(106期)から講義を受け、その後、研究室の見学と実験をさせていただきました。素晴らしい学習環境の中でハイレベルな講義を受講し、生徒達は最先端の学問に触れることができました。そして夜は関西東筑会との交流会に参加させていただき、様々な舞台で活躍されている先輩方との交流を通じて、生徒達の進路意識も非常に高まったようでした。

2日目は、京都大学吉田キャンパスで法学部教授の原田大樹教授(94期)と助教、2人の大学生と様々なディスカッションを行いました。「法学部は法律を覚えることではなく、いかに活用できるかに重点を置いている」など、法学部を目指している生徒にとって進路を決定する上で、非常に参考になったと思います。午後は東京に移動し、国会議事堂などを見学して、東京東筑会の交流会に参加させていただきました。

昨日同様、生徒達は多くの先輩方と積極的に交流し、非常に充実した時間を過ごすことができました。

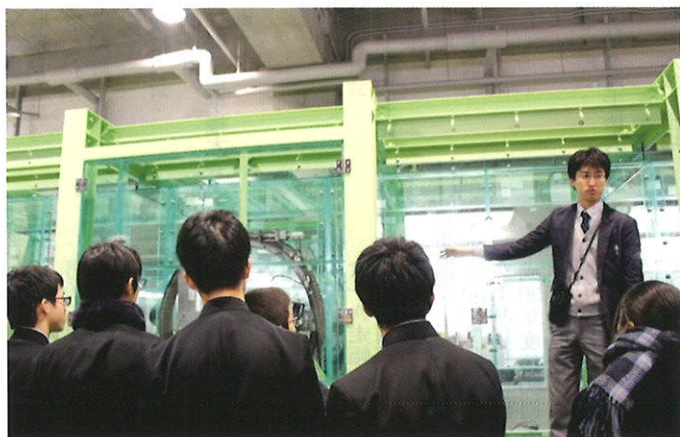
3日目は、億谷和彦氏(74期)の案内で企業訪問をさせていただきました。最初に訪問したNHKスタジオパークでは、情報を発信する立場である施設で、生徒達はテレビの画面やラジオの音声から取得している情報を、より身近に感じる事ができたようでした。次に訪問した博報堂では、会社についてのプレゼンテーションの後、「学生以外をターゲットにしたカラーイメージのCMを制作する」と言うテーマで、キャッチコピーやストーリーまで班ごとに考えてプレゼンするワークショップを行いました。生徒達は、受け手に分かりやすく伝えることの難しさや多面的に物事を捉えることの難しさを実感したようでした。最後に東芝未来科学館を訪問しました。日本の家電の歴史と言っても過言ではない東芝の歴史と最新テクノロジーに触れ、最先端技術に対する興味・関心を高めるだけでなく、グローバルな視点で物事を考察することの大切さを体験することができました。また、その日の夕食は月島でもんじゃ焼きを食べ、東京の文化に少しでも触れることができて生徒達は喜んでいました。

最終日は東京大学本郷キャンパスを訪問しました。地方出身の大学生で結成され、地方の高校生を応援する「FairWind」の方々が、安田講堂や三四郎池など本郷キャンパスの案内と、実際に時間割を自分で作成するワークショップを行いました。生徒

達は東大の1年間で取らなくてはならない単位数の多さと、「ジェンダー論」など特色ある講座を知り、東大への興味・関心が高まったようでした。午後は、薬学部の金井求教授の案内で実際の研究室を見学させていただきました。最先端の学問と最新設備を体験することができました。生徒達には、この4日間で体験したことを、これからの学校生活の様々な場面で学校全体に還元して欲しいと思います。

最後に、本研修を実施するに当たり、東筑会・東筑奨学会および東京・関西東筑会には多大なるご尽力・ご支援をいただき、本当にありがとうございます。そして、本研修の事前準備段階から当日まで、実に多くの卒業生の方々に関わっていただき、それらの方々と交流を通して、母校と後輩達への熱い思いを感じることができたことは、生徒達がこれからの学校生活に意欲

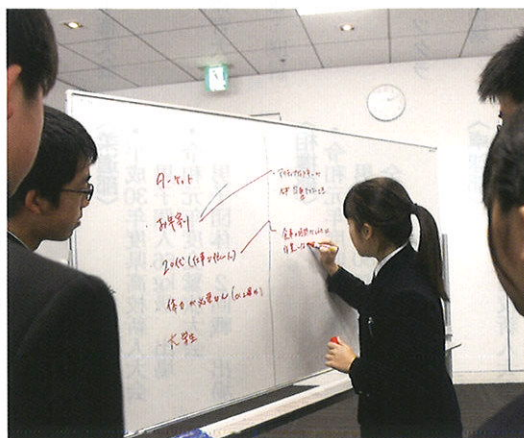
的に取り組む大きな契機になりました。本当にありがとうございました。本



京都大学 野口恭平助教(106期)の講義



京都大学桂キャンパスにて



博報堂でCM製作の体験

リニューアルで充実した教育環境を

東筑高校教育環境整備事業実行委員会 委員長

深田 高一

(東筑会 会長)

母校から、「約40年間もの長きにわたって東筑生を見守り、育ててくれた教室棟・特別棟・体育館・図書館・食堂・東筑会館がリニューアルされます。図書館・パソコン教室以外は改造工事になりますので校舎の配置は変わりませんが、内装はこれからの教育に最適なものになる予定です。完成まで時間はかかりますが、御期待いただきたいと思います。」との発表がありました。

同窓会としても、このリニューアルで県費で整備されない机・椅子・ICT機器・体育館舞台幕等の補助をしたいと考えています。募金活動を令和2年4月より開始する予定です。詳しくは、令和2年度の東筑会総会等でお知らせいたします。母校の教育環境充実のための募金活動に対して格別の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



完成予想図：中庭の機械室が図書館(1階)、パソコン教室(2階)になります

ちなみに工事計画は次のとおりです。

- 体育館・武道場改造工事(令和2年度)→教室棟・食堂改造工事(令和3年度)
- 教室棟改造・図書館棟新築工事(令和4年度)→図書館新築工事(令和5年度)
- 特別棟改造工事(令和6年度)→プール棟・図書館棟改造工事(令和7年度)
- 東筑会館改造工事(令和8年度)

文化祭を終えて

「和」の幕開け

教諭 三好千絵 (109期)

令和元年6月1日(土)、「和」をテーマに今年度文化祭を開催いたしました。多くの御来賓の方々、保護者の方々などにお越しいただき、盛大に開催できましたことに深く感謝を申し上げます。

今年のテーマ「和」という言葉には、仲良く協力し合うという意味に加え、性質の違うものが一緒にとけあうという意味もあり、東筑生ひとりひとりが協力し合い一つになることで、多様性輝くより良い文化祭を作っていきたいという文化委員長、そして生徒会の思いを込めました。

1年生企画では、クラス一丸となってステージ発表を行いました。どの劇もそれぞれのクラスの良さ・雰囲気伝わってくるものとなりました。2年生企画は、教室展示で物語の世界さながらの体験型アトラクションをつくりました。少ない準備期間の



文化祭書道部パフォーマンス

中で懸命に作り上げました。そして、3年生企画は縁日と校内装飾をおこないました。小さいお子様から大人の方まで、楽しんでいただける文化祭となりました。また、文化部を中心に日頃の部活動の成果を発揮して、質の高い発表をおこないました。さらに、バイオリンやバンドまで、多彩な才能を発揮しました。

「令和」という元号が発表される前に、生徒自らがつけた「和」をスローガンとした今年度の文化祭は、まさに「令和」の幕開けにふさわしい、東筑生たちが新たな一歩を踏み出すための行事となりました。

日頃から本校の活動に御理解ご協力をいただきありがとうございます。皆様に支えられ本年度の文化祭も盛会のうちに終えることができましたことに感謝いたします。



吹奏楽部による合奏

第6回

「ようこそ先輩」
講演会を終えて

柴田泰山 88期

東筑総会懇親会がある6月8日の午前中、東筑高校では本年度で第6回を迎える「ようこそ先輩」が実施され、88期から5名、89期から1名、90期から2名、91期から2名、92期から2名、合計12名が講師として、全員が初めて母校の教壇に登りました。当日は各期から、技術者や旅館経営者や社会保険労務士、国際弁護士や大学教員や医師などなど、実に幅広い職種の卒業生が集まり、それぞれが45分の講義と、講義終了後に希望者と座談形式のディスカッションに臨ませていただきました。

初めて登った母校の教壇は、やはり緊張するものであります。私事で誠に恐縮でございますが、普段から大学や大学院の講座で教壇に立ち講義には慣れているものの、母校の教壇と、これから未来が開けていく後輩たちの目の輝きを前にした時、「短い時間の中で何か彼らの心の中に響く言葉を伝えたい」、「これから未来がはじまってしまう生徒たちに、たとえ今日のことが忘れ去られてしまおうとも何か彼らが自分の未来に光を求めるときかけになれば」という想いが強く込み上げ、少しでも分かりやすく、そして学び続けることの楽しさや、学問の世界の奥深さを伝えたいと感じました。おそらく、この日、講師として教壇に立った卒業生全員が、同じような気持ちでいたことかと思えます。

各教室での講義終了後、希望者との座談会も活発な意見交換ができました。生徒から「このような専門職に就くためには、これからどういう勉強をすればいいののか?」、「外国で活躍するためにはどのような進路を考えればいいのか?」、「こういう研究職に就くためにはどうすればいいののか?」など、自分の進路と未来を10代後半からこそ、本気で考え、そして本気で悩む発言が続きました。こ

の質問のひとつひとつが、彼ら自身が大人になっていくことや社会に出ることへの、言葉にできない不安や心配であり、そしてなかなか友人や家族に聞きにくいことであることも、彼らの表情からよく伝わってきました。

レスポンスにあたった講師たちも、先が見えない将来に不安や戸惑いを感じながら多感な時期をこの校舎で過ごしていた昔の自分の姿を思い出しながら、生徒たちの言葉に対して真摯に耳を傾け、そして心を込めた言葉で「自身の人生」という具体的な事例とともに答えていました。また大学受験を前にして、どうしても受験のシステム上、文系と理系に分かれたカリキュラムが組まれていきますが、だからこそ哲学や情念に主体をおき、人間の思考や動向に研究を進めていく文系は数学や物理学にも興味を持ち、論理的な思考と論述を求められること、また同時に理論や数字や統計に徹した理系は人間の心や感情に興味を持ち続けなければならぬことなどを伝え、講師が「よく学ぶことが必要であること」、「自分に自信を持つこと」、「自分の興味がある進路を考えて行くこと」などをアドヴァイスしていました。

そしてこの場にいる皆様がこの「ようこそ先輩」の講師となる30年後には、AIをはじめ今とはまったく異なった未来が開けていく時代になるからこそ、生徒諸君は自分たちの未来をその手で開拓していくために今この東筑で学んでいること、この東筑に三年間こそが生徒皆様の人生と夢の礎であり、皆様こそがこの世界の未来で終ったことを伝えました。座談会が終了した後も、生徒と講師がその場から離れず、立ったまま質疑を繰り返し、中には講師の言葉に自分の未来への光を見出した生徒や、あるいは講師の投げかけた一言に心から救われたという表情をした生徒などもあり、実に印象的な座談会となりました。末文ではございますが、この「ようこそ先輩」の企画と運営にあたっていただいた本校の諸先生に、あつく御礼を申し上げます。この企画が今後も続きますことを祈念申し上げます。

各地区東筑会だより

東京東筑会

創立41年目を迎える東京東筑会の昨今の活動状況についてご紹介します。

今年も5月26日(日)に関東の大学に進学した学生や新社会人を歓迎する「新人歓迎BBQ大会」を開催、学生・新社会人20名を含む総勢95名が葛西臨海公園でBBQを楽しみました。2012年の初回開催時は40名弱、学生7・8名でしたが、ここ数年は100名規模の歓迎会となっています。今年大学に進学した117期は10名が参加、今後も東京東筑会の多くのイベントに参加頂ければと願っています。

一方、東京東筑会では、当番期を経験していない若手の活動参加を如何に増やしていくかを課題としています。多くの地域東筑会においても同様の課題認識があるのではないでしょうか。この問題解決の一つの突破口となり得る動きが最近出て来ているのでご紹介します。

帰宅途中で途中下車し居住地沿線の同窓生が集まり交流を深める「沿線の会」が、雨後の筍の如く次々と発足しています。中央線、小田急線、京王線、田園都市線、千葉沿線の会を企画し、開催案内を東京東筑会フェイスブックで告知、各地で20・30名規模の交流会が開催されています。また、同じエリアで働く同窓生の「地域交流会」も神田や青山で発足しています。更には、海外駐在の同窓生を発掘し交流会を開催する「グローバル東筑会」をバンコク、上海、ホーチミン、グルガオン等々で開催しています。グローバル東筑会は、海外在勤・在住の同窓生に関する情報収集が鍵であり、試行錯誤しながら出来ることから始めています。特筆すべきは、これら活動の企画・実行は、当番期末経験の若手の方々が主体的に行っている点です。東京東筑会としては、企画力・実行力のある彼らを最大限支援し、これらの新しい活動の芽を育てて行きたいと考えています。

今年の懇親会は、当番期89期により11月9日(土)品川グレースで開催します。「新人歓迎BBQ大会」、「沿線の会」、「地域交流会」に参加した多くの同窓生が、また、「グローバル東筑会」に参加した同窓生の皆様はご帰国後に、東京東筑会懇親会に集い語り合って頂くことを願っています。

幹事長 原田耕太郎(81期) 記



東京東筑会賑わいの源 役員会の様子

上総東筑会

第29回上総東筑会総会・懇親会は、3月8日(金)に東筑会から平田龍司幹事長(69期)、東京東筑会から齋藤容子副会長



57期から109期と幅広い年代が参加の第29回上総東筑会総会・懇親会
(君津市 ホテル千成)

(74期)ならびに89期当番期の魚住和久氏・野見山崇氏を来賓としてお迎えし、参加者20名で千葉県君津市のホテル千成で開催致しました。千葉県の上総地区(君津、木更津、富津、袖ヶ浦)ならびに千葉市在住の57期(昭和34年卒)から109期(2011年卒)と幅広い年代の方に参加頂きました。最近では現役世代の参加者が増えましたが、今年は先輩方にも多く参加いただきました。

第一部の総会では、松永久義会長(68期)の挨拶、平田東筑会幹事長の来賓挨拶の後、審議事項である会計報告、予算案の審議、承認を行いました。

第二部の懇親会では、今回は初参加の方や久々に参加された方が多くいらっしゃいましたので、全員で自己紹介と近況報告を行いました。元々の知り合いでも新しい発見などがあり、楽しいひとときでした。ま

東海東筑会

た当番期からの東筑会総会、東京東筑会総会の紹介なども行いながら、当時の話に花を咲かせました。東筑を卒業して何年経っても高校時代の思い出は尽きることなく、また年代が違っていても同じ地域で暮らしたり、同じ部活に所属していると、相通じるところがあるようであつという間の2時間半でした。

最後に応援団出身の藤川秀樹さん(78期)のリードで校歌斉唱、エールを行い、会を締めくくりました。

参加頂いた方、近況をご連絡頂いた皆様どうもありがとうございました。上総地区ならびに千葉県在住のOB、OGの方は、是非来年の上総東筑会にご参加下さい。

事務局 高浜義久(88期) 記

平成30年から平成31年(令和元年)にかけての活動を報告致します。

昨年7月21日(土)、世界のビール博物館大名古屋ビルヂング店にて、納涼会を開催し、22名が参加しました。ドイツ、ベルギー、イギリス、チェコ、アメリカの輸入ビールの飲めるレストランで、美味しいビールと料理を堪能し、世代を超えて交流を深めました。

11月17日(土)は、第20回テクテク会と称し「FLIGHT OF DREAMS 見学ツアー」を開催し、お子様4名を含む19名が参加しました。中部国際空港セントレアにあるボーイング787初号機の展示をメインとした新感覚飛行機テーマパークで、航空について楽しみながら学ぶとともに、シアトルへのミニトリップの気分を味わいました。

平成31年1月19日(土)は『日本料理志摩』にて新年会を開催、17名が参加しました。世代を超えて大変盛り上がり、美味しい料理に舌鼓を打ちながら楽しいひと時



54期～110期総勢36名参加 第33回総会(ホテル・ルプラ王山)

を過ごしました。会の最後は校歌できっちりと締めました。

平成31年度第33回東海東筑会総会を4月21日(日)に『ホテル・ルプラ王山』にて開催致しました。東筑会会長の深田高一氏を始め、当番期89期は柴田健彦会長をはじめとする4名にご参加いただき、54期から110期までの幅広い世代の会員とご家族を含む総勢36名の会となりました。総会では、中松副会長(78期)の進行により、昨年度の行事報告、収支報告、本年度の役員選出、行事計画、予算案などが承認されました。引き続き、懇親会では土橋幹事長(72期)の進行により、深田会長の乾杯に始まり、しばし歓談の時間を過ごした後、

関西東筑会

恒例のビンゴゲームで大いに盛り上がりました。最後に、田中さん(110期)の指揮と服部(85期)の伴奏で、校歌を元氣よく歌い、盛会のうちに幕を閉じました。

東海東筑会は、近年若い世代の会員も増え、年々活気を帯びてきております。今年度も引き続き世代を超えて交流し、ますます活性化するように努めてまいります。

東筑会のますますの発展を祈念してあります。

事務局 服部悦子(85期) 記

令和元年5月25日(土)、2019年度関西東筑会総会・懇親会が大阪天満橋の「大阪キャッスルホテル」で開催されました。今年も194名の方にご参加いただき盛大な会となりました。総会後の懇親会では、富永純二会長(66期)の挨拶に続き、母校東筑高校の児玉幸子校長、東筑会副会長の高崎徳彦様(68期)、東京東筑会副会長の長の大井恭二様(62期)、当番期副会長の藤崎光章様(89期)のご来賓の皆様よりご挨拶をいただきました。

その後、北九州よりお越しいただいた86期の学年主任、石川匡宏先生(48期)の乾杯ご発声とともに開宴となりました。12名の大学生全員に登壇いただき自己紹介と将来の夢について話していただいた後、恒例のお楽しみコーナーでは「ちゃんと観らんねー東筑ショウタイム」と題し、東京でショーレストランを経営する塩津義彦君(86期)によるダンスショーの披露がありました。曲に合わせての手拍子も起こり大いに盛り上がった楽しいひと時となりました。クライマックスは校歌3番までの斉唱です。86期応援団長の久保隆一君による力強いエールで、長い校歌を3番まで歌い切りました。

当番期代表からの御礼の挨拶の後、来年度当番期の村上敦信代表(87期)へ引き継

ぎが行われました。5名の87期生に登壇いただき、村上代表から決意表明が行われるとともに、来年の総会・懇親会は令和2年5月23日(土)に開催されることが発表されました。

最後は、林早苗副会長(71期)から閉会のお言葉をいただき、閉会となりました。今年は、出身中学別の配席とさせていただきます、世代を超えて先輩後輩の交流が盛んに行われているようでした。

関西在住の86期は10名で他地域から47名の応援で、総勢57名で当番期を務めました。諸先輩方の温かいご指導・ご協力のおかげで無事に終えることができました。皆様から御礼申し上げます。

事務局長 河部伸治(86期) 記



令和元年の総会・懇親会(大阪キャッスルホテル)

広島東筑会

平成30年11月24日、広島東筑高校校長、工藤教頭、深田東筑会会長のご来賓を賜り、広島東筑会が盛大に行われました。当番期(89期)柴田会長をはじめとする7名の役員にも駆けつけて頂き、総勢44名の賑やかな会となりました。

冒頭、東筑高校大還暦と広島東洋カープの三連覇を祝して、今回初めての司会を務めて頂いた五島さん(60期)の音頭で、先ず全員で万歳三唱を行い会の幕を開けました。

深田会長には乾杯の音頭を取って頂き、中島校長からは学校の近況報告をして頂きましたが、何れも少子化による生徒数の激減で学校運営が難しい状況にあることを訴えられたのが印象的でした。

恒例のカップアワーでは、高カープ・ヘッドコーチ(84期)の「来年こそは日本一」との力強い抱負が語られ、アーティストア



ミュージックアワーで熱演 高橋会長

ワーでは具島さん(59期)、後藤さん(61期)両画伯による最新作の展示と解説を頂きました。ミュージックアワーではピアノの柳原さん(74期)とヴァイオリンの田代さん(77期)の姉妹による演奏に加えて高橋(50期)が、お二人の伴奏で坂本冬美の「また君に恋してる」をアルトサクソフで演奏し、拍手喝采(手前味噌)を頂きました。

東筑会総会・懇親会を2週間後に控え、本年当番期である89期の皆さんも多数参加され、本番に向けて一層の団結を固められていました。恒例により89期の皆さんには、盛会成就を祈願した博多の櫛田神社のお札がふくおか東筑会から贈られました。

またこれも恒例になりましたが、当番期による2019年の東筑会総会・懇親会の案内とチケット引換券の販売が行われ、程々の成果があったとお聞きしました。

勿論、カップの応援歌「それ行けカープ」と校歌の全員合唱、記念写真撮影と続き、最後は工藤教頭による一本締めで幕を閉じました。

なお、今回、築山さん(60期)が所用で欠席の為、代わって広瀬さん(79期)にトータルコーディネーターを務めて頂きました。お蔭で会がスムーズに進行出来たことを特に付け加えておきます。

会長 高橋昭八郎(50期) 記

ふくおか東筑会

新しい元号になりました今年の「ふくおか東筑会総会・懇親会」は5月25日(土)17時から天神スカイホール(福岡市中央区天神)で、来賓に原田美穂東筑会副会長、平山篤母校副校長をお迎えして開催され、今回も150余名が集いました。

総会では、平山副校長から本校の現状報告があり、続いて、恒例の会員による卓話は今春JR九州の博多駅として初の女性駅長に就任された84期の中野幹子氏に講話をいただきました。

懇親会では、まず、福岡大学付属若葉高校の津軽三味線部の演奏で令和を寿ぎ、続いて、原田東筑会副会長のご挨拶があり、中野博多駅長の乾杯ご発声により、祝宴が賑やかに始まりました。



新しい元号でのふくおか東筑会(福岡市 天神スカイホール)

事務局長 富増春樹(69期) 記

芦屋東筑会

第42回芦屋東筑会総会・懇親会を平成30年10月20日(土)「かねやす芦屋店」にて開催いたしました。当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」・近隣七つの地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ56名の出席者で会場は一杯となりました。

第一部の総会では、物故者への黙祷に始まり、ご来賓の紹介・祝辞、議案の承認と恙無く終了しました。役員一同、これから情熱を持って芦屋東筑会の運営に取り組みで参る所存です。

第二部の懇親会は、校歌斉唱から始まりました。会員、ご来賓も歌い終えた頃には、誰もが学生時代に戻ったかの様な和やかな雰囲気となり、どのテーブルでも昔話に多くの花が咲いていました。毎年恒例の豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会では、歓喜と落胆の声が交錯しながら、盛会のうちに終了の時を迎えました。会場の外では次回総会での再会を期し、いつまでも別れを惜しむ方で溢れていました。



「乾杯」で懇親会(かねやす芦屋店)

参加された多くの会員の皆様のご協力により平成30年度の総会・懇親会が盛会のように終了できましたこと、心より感謝し厚くお礼申し上げます。特に2019年本校同窓会当番期の方々には、受付や案内・接待などをお手伝い頂き、また、懇親会でも大いに盛り上げて頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

芦屋町に縁のある皆様、芦屋東筑会への入会や総会参加をお待ちしております。今年度の総会でも皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、芦屋東筑会の運営・発展に努めて参ります。

会長 徳田 徹(62期) 記

岡垣東筑会

令和元年度(第44回)総会・懇親会を、5月25日(土) ぶどうの樹「バンケット森と空」にて開催いたしました。

当日は、関西・福岡両東筑会も開催されているなか、深田高一東筑会々長、工藤宏敏東筑高校教頭をはじめ、近隣7地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、また、当番期(89期)の方々の協力を得まして、総勢65名での開催でした。

井上亮議長(当番期副会長)の進行のもと、30年度事業報告、決算・監査報告、役員改選、令和元年度事業計画、予算案等全ての議案について承認をいただき、総会は無事終了しました。

特に、今年は役員改選の年ではありませんでした。昨年の総会直後に深田会長が東筑会々長に就任されたことに伴い、後任の会長には占部義和(前副会長、67期)、副会長に筒井信秋(前事務局長、70期)、事務局長に俣口康彦(前理事、73期)、新たな理事に廣澤弘子(68期)、高山彰二(70期)を加えることになりました。

9代目の会長という身に余る大役でございますが、諸先輩が築かれた伝統を汚さぬ

よう、精一杯努めさせていただきます。引き続きの懇親会では、終始和やかな雰囲気になか、楽しいひと時を過ごすことができました。

特に、今回の会場は、昨年まで6年間続いておりました「野々庵」から、同じ「ぶどうの樹」敷地内の「バンケット森と空」に変更いたしました。

各種パーティーにも対応できる洋風の会場で、料理も「野々庵」とは違った趣のある内容で、参加者の評判は上々のようでした。

最後に当番期の皆さんのリードの下、校



「バンケット森と空」にて校歌大合唱 第44回総会後の懇親会(バンケット森と空)

歌を大合唱、万歳三唱の後、来年の再会を約して幕を閉じました。

なお、4月の町議会議員選挙において、本会役員・会員である次の3名の方々が見事当選されました。

太田強頼(58期、当選5回)、太田清人氏(73期、1回)、川地啓輔理事(88期、1回)

今後のご活躍を祈念いたします。

会長 占部義和(67期) 記

中間東筑会

中間東筑会とは、総会・懇親会の開催を隔年としておりますことから、この年は、いわゆる「空き」の年でありました。もちろん何もしいない年ではなく、会報を作成し会員の皆様にお配りする年としております。今回も、フルカラー4ページの会報を作成するための資金(寄付金)集めから始めました。足で稼ぐの言葉通り、市内の企業や会員宅を廻りながら寄付を募りました。また、何度も会報委員会を開催し内容を煮詰めていきました。できあがった会報は、単に郵送するのではなく、各期の世話人の皆様にお集まりいただき、まずは、地域ごとに配り歩きました。不明の会員には再度名簿と対照して郵送しました。約千通の会報を配布するまでにはかなりの時間を要しました。

会報の内容は、やはり中間市出身の偉大な先人の記事があります。かつての大エースの名前を戴き、「仰木彬」記念球場とその名を変えた中間市営球場で開催される冠大会の話題。市内の寺に有志によって建立された「高倉健」さんの記念の石碑と、そこに彫られた文字の堂々とした佇まいの話。50年も前に卒業なさった先輩方の在学当時のバンカラ校らしい話題等々、「うんうん」「へー」とさせる話題が盛りだくさんです。そういえば、筆者の生徒手帳には、服装の

欄に「履物：革靴・アップシューズ若しくは下駄」とあったのを覚えてます。

また、歴史ある中間東筑ゴルフ会の活動も活発です。年4回のコンペで腕を磨いており、おかげさまで今年度の全体ゴルフ会では、団体・個人優勝等賞レースを賑わせました。

さて、来年は総会・懇親会の年。令和2年4月25日(土) 中間ハーモニーホールにおいてにぎやかに開催いたします。ぜひご参加ください。

事務局長 船津喜久男(79期) 記

フレンドリー鞍手町東筑会

今年も秋の日帰りツアー

昨年10月24日、フレンドリー鞍手町東筑会恒例となっています秋の日帰りツアーを開催しました。今回は大刀洗平和記念館と麒麟ビル福岡工場の見学でした。

最初に訪れましたのは大刀洗平和記念館です。平成21年に立て替えられた平和記念館には旧陸軍最大の飛行場があった大刀洗の変遷、建設から空襲による破壊にいたるまでの記録が展示されています。大刀洗は戦争末期、特攻隊の中継基地でもあったとこのことで印象に残る展示品が数々ありました。

続いてすぐ近くにあります麒麟ビル福岡工場へ。快晴の空の下、工場前の敷地には満開のコスモス畑が広がっていました。ちょうどコスモス祭りの最中で数多くの露店が並びたくさんの来場者で賑わっていました。ここは麒麟の主力商品「一番搾り」の工場で、生産能力は年間25万キロリットルとのことです。立ち並ぶ貯蔵タンクの大きさは圧倒されました。製造工程にそって工場内を見学して回ったのですが、期待はやはり試飲コーナーです。3種類のビールを提供していて、参加された皆さんゆっくり喉を潤しておられました。最初に見学

した平和記念館とは別天地で、生まれた時代によってこうまでも違った世界を経験するとは思えない感覚です。

工場見学を終えて原鶴温泉街の一角にあるホテル「六峰館」へ。建物は筑後川の土手の上にあつて、キラキラと輝く川面を見下ろしながらの宴席でした。

このあと道の駅原鶴で買い物をしたのち帰路につき、出発地「くらの郷」に帰着いたのは夕方5時前でした。こうして今年の日帰りツアーは終わりました。

今年度もまた秋の日帰りツアーを企画しております。多くの会員の皆さんにご参加頂ければ願っております。

事務局 梶栗浩二(69期) 記



大刀洗平和記念館の前で

北九州くきのうみ東筑会

「東筑エール」スタート!

「高校同窓会」の場で新たな世代間交流を」と、北九州くきのうみ東筑会では、昨年より新たなチャレンジがはじまりました。事務局長の津上正見さん(82期)のアイデア

です。「夢スピーチ」をすることで、自らを鼓舞し、さらに同窓生を鼓舞し、協力の輪が広がることで、夢を、自分の幸せから周りをも巻き込んだ幸せに昇華させようという企画「東筑エール」です。

昨年は、私と102期の浜田昇さんがスピーチをさせていただきました。この「東筑エール」の夢には2つだけ条件があります。「社会に貢献するものであること」、「これまでの人生に関わりがあること」です。事務局の津上、田中両先輩をはじめ、協力してくださる方々と「夢が何か」と確認するところから始めて約3ヶ月、集まって、またオンラインで打ち合わせを重ね、スピーチをつくっていききました。

私は「コラボなみらい」というタイトルで、ボランティア活動、特に学校でのキャリア教育について発表させていただきました。スピーチで語ったプログラムを今年度実施できる予定です。「コラボなみらい」とは団体名でもあります。メンバーの一人が「支援」という言葉は、支援する人、

される人に上下関係を感じる。「協働」という言葉であれば、対等な感じがする」と話してくれたことから、協働「コラボレーション(コラボ)」、また、何かと何かをかけあわせて新しいものを生み出すという意味も込めて「コラボなみらい」という団体名になりました。

浜田さんのスピーチのタイトルは「家族になる努力」。児童養護施設で主任児童員をされており、虐待など様々な事情から親を頼れず、児童養護施設で生活する子たちと家族になる努力をし、将来は自分の児童養護施設をつくりたいという夢を熱く語ってくれました。

今度は後輩二人にバトンを渡し、本番のスピーチまで浜田さんと私もサポートしていきます。今年の北九州くきのうみ東筑会は11月16日(土)です。「東筑エール」にもぜひ注目してほしいです。

福田百合加(91期) 記

水巻東筑会

第18回令和元年度水巻東筑会総会・懇親会をさる5月18日(土)に水巻町商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣東筑会の来賓、東筑会総会の当番期の方々のご臨席を賜り、会員と合わせ54名の出席者で会場は一杯となりました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

懇親会では、学生時代を懐かしんで思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに斉唱し、名残惜しい中、閉会しました。

次回もまた、皆様の元気な姿にお会いできることを楽しみに、もっと多くの同窓生に参加してもらえよう会の運営・発展に努めてまいります。

事務局長 友廣大祐(90期) 記



「東筑エール」でスピーチの福田百合加さん

平成31年度（令和元年度）の宗像東筑会総会・懇親会を4月14日（日）に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期（89期）の方々及び次期当番期の会長のご臨席を賜り、盛會裡に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。引き続き行われた恒例の講演では、北九州市八幡西区で建築設計事務所をされておられる一級建築士の安東崇夫氏（89期）より「建築士の職業病inむなかた」と題して、建築士から見たいろいろな建物の問題点や今後の課題等を、熱く語っていただきました。

宗像東筑会



令和元年度総会・懇親会(水巻町商工会館)

た。また、懇親会では初めて参加された方にお話していただいたり、校歌を歌ったりして終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

さて宗像東筑会の活動としては、今年6月、宗像市主催の市民交流まつりにバザーの出店をしました。東筑高校の幟を掲げて地域活動に積極的に参加しております。また秋には恒例の「宗像環境フェスタ」のサイクルマーケットにも出店する予定にしています。ぜひ一度参加してみませんか。最後に、この会報をこらになつた宗像・福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会には是非ご出席いただき、よき時代を思い出そうではありませんか。ご協力宜しくお願いいたします。

事務局長 門司 剛（63期）記



安東崇夫(89期)一級建築士による記念講演(玄海ロイヤルホテル)

ひのくに東筑会

令和元年5月19日、ひのくに東筑会第15

回総会がザ・ニューホテル熊本で開催されました。

早田克己副会長（58期）の開会の辞、大庭英樹会長（59期）の挨拶の後、ご来賓の東筑会新会長深田高一様からご祝辞をいただき、審議に入りました。

平成30年度会計報告を宮口会計から、会計監査報告を香川監査から報告があり、満場一致で承認されました。続いて令和元年度予算案説明があり、これも承認され、令和元年度の活動が開始しました。

今回は役員改選動議があり、大庭会長が退任され、当会創設時からの功労者、宮川薫臣（57期）現事務局長が新会長に、事務局長に柴田泰行（64期）が選出され、承認されました。

恒例のミニ講演会は「南米点旅」と題し、宮川新会長が南米ペルーを旅され、主にマチュピチュの自然と遺跡群、麓の町の人々の様子等、珍しい写真を見ながらミニ旅行を楽しませていただきました。

今回は東筑高等学校から工藤宏敏教頭先生、宗像東筑会から高嶋邦秀会長（57期）、



復興に向けて元気いっぱいの熊本 複合施設完成予想図

今年当番期89期の柴田健彦会長他2名と、来年当番期90期の中村好伸副会長他2名にも参加していただき、明るく賑やかな懇親会となりました。

平成28年4月14・16日の熊本地震から3年が経過し、復興中の熊本市ですが、地震で閉院、建設中だった新市民病院が10月に開院、交通センター・大型店舗・ホテル・マンション等が入った複合施設が9月にオープン。鉄道の玄関口、熊本駅周辺整備が2020年完成予定で施工中です。

今年10月にはラグビーワールドカップが2試合、11月には女子ハンドボール世界選手権大会、予選・決勝ラウンド96試合が開催されます。

復興に向けて元気いっぱいの熊本へ是非お越しください。

事務局長 柴田泰行（64期）記

北海道東筑会

母校のある北九州市から約二〇〇キロ離れた北の大地で産声を上げた北海道東筑会は、お陰様で今年7周年を迎えました。北海道にすっかり根を下ろしている方々、または進学や転勤等に伴って北海道に暮らしている方々など、多種多様な54期から111期までの会員が集まっています。

北海道の明瞭な四季の移り変わりに合わせて、桜は咲けどもまだ肌寒さが残る5月の総会・懇親会、暑くとも爽やかな夏の盛り8月の総会、積雪とシバレが本格化する12月の忘年会にはもつ鍋を囲んで、札幌をはじめ北海道に暮らす会員が集い、和やかな雰囲気の中で懇親を深めています。

恒例の近況報告では、人懐っこく柔和な諸先輩方に囲まれるお陰で、老いも若きも世代を超えてそれぞれの日常の語り、そこから話題が膨らみ、または脱線しながら笑いありと各自の持ち時間をオーバーするほ



7周年を迎えた今春の総会

ど話が弾みます。
今春の総会には、昨年6月に就任された深田高一東筑会会長と当番期89期の石塚元恵副会長が、お忙しいなか札幌にお越し下さいました。変わりゆく母校や故郷北九州の近況を時折九州弁を交えながら伺っていると、お酒が入っているせいか脳裏に高校時代の折尾の街が鮮やかに蘇り、感慨もひとしおとなります。

二人集えば東筑会と言われるように北海道東筑会では、北海道在住の方は勿論、ご旅行や出張で北海道にお越しになる卒業生のみならずの例会へのご参加も心から歓迎いたします。活動の様子は北海道東筑会のフェイスブックで紹介しています。コメントも大歓迎です。東筑会の北海道のプラントとして今後も卒業生の皆さまに声をかけていただき、さらに世代を越えて連携を深められれば幸いです。

鈴木淳志(85期) 記

各 期 だ よ り

39期だより

東筑百二十一周年 大遷歴を越える

百二十六代、令和の新天皇御出発。美しく豊かな世界平和への出発になりますように、神仏に祈りをささげます。

東筑は1898、明治31年6月1日、初代校長大森藤蔵先生以来、すべて男性校長でありましたが、121年目に、紅一点の児玉幸子校長先生が就任されました。青天の霹靂の感に浸ります。

伝統の松と竹の「質実剛健」に、女性の美しき桜と梅の花を咲かせ「豪華絢爛」を添えていただきましたと思います。

また、高山会長の後任に、第8代東筑会会長に就任した62期の深田高一君は、私の岡垣中学校時代の教え子です。大変うれしく思います。

我々39期生は、昭和15年3月に228名が卒業しましたが、現在生存者は数名で、殆んどが病者です。重度の難聴、認知症、心臓病、脛骨障害、膝関節障害、癌、背骨神経障害等々多くの病氣保持者です。

他県在住者は全く不明です。39期ゴルフ会が88歳迄実行されたことは、驚きと感謝のほかはありません。

39期生は大東亜戦で3名の沖縄特別攻撃隊に選抜され、壮烈なる戦死を上げられました。旗生良景君、本庄繁君、友枝幹太郎君です。皆旧制大学在学中に応召されて、東筑高校生が、東大、京大、九

大をめざすことは良いことですが、工芸、絵画、彫刻、織物、精密機械、音楽、作家等々の道で夫々「人間国宝」の人をめざす教育が、幅広く多角的人材の育成に励んでいたと、日本一、世界一の教育校になるように、東筑の先生方も大変でしょうが、東筑を愛する先輩の希望であり夢であります。着実堂々前進する東筑へ!!!

(幹事 刀根博愛 記)

42期だより

東 筑 魂

懐かしの一本松のもとを巣立って75年(現在93歳)。大正、昭和、平成、令和と4代を良くぞ生き抜いて来たと思います。42期に因み、4月12日小倉セントラルホテルに集まった同期の桜は僅か5名。同伴の奥様2名と共に楽しい一刻を談笑裡に過ごし、来年以降2・3名になる迄は続けようという会を期し、散会しました。この42期だよりも何時の間にかリレー式になり、先行き如何なりますかわかりませんが、出来る限り続けたいと思います。

私たち42期の自慢は何と申しましても卒業後、私共同期生の記念事業の一つでもある思い出の「東筑42期生の半生記、一本松を巣立って50年」と題する記念誌です。寄稿者は当時68歳にしては多数と云える40名。各自が少年時代から主題の東筑在校生時代の様々な出来事を、更に卒業後の変転極まりない独自の経歴を披露しており、所謂今流行の自分史であり、立派な出来栄と自画自賛しております。失礼乍ら他期の皆様はこの種の企画は無かったものと聊か自負すると共に、当時発刊に携わった幹事、編集委員の苦勞に深く敬意を表するものであります。

昭和20年、敗戦により命の助かった私達のその後の70有余年は、天から授かった儲けものだと思えます。卒業後鬼籍に入った同期生を含め、私達全員が何かこう「東筑魂」と云う一本筋の通った人生を送って来たものと確信しております。

或る時は厳しく、或る時は慈しみ、独特な風情に育てて下さった母校 東筑高等学校に感謝し、今後益々の発展を祈念します。

(幹事 原田 勲 記)



40名が寄稿した記念誌



4月12日 小倉セントラルホテルに集合の同期の桜



47期だより

米寿老人のつばやき

私達東筑第47期生は、昭和18年（1943年）入学、昭和23年（1948年）卒業ですが、東筑中学校最後の卒業生でもあります。

昭和18年から昭和23年までの在学期間のうち、昭和18年から昭和20年8月の終戦の日までは軍国主義と戦争の時代ですが、昭和20年8月15日からは民主国家として新しい国造りの時代が始まりました。国家として正に正反対の方向へ動き出した訳です。そして当然のことながら政治も経済も混乱しました。私達はまだ親の囁を囁る年代だったため、理解できないことも多々ありましたが、困難な時代を何とか生き延びて現在があるのです。

昭和18年の入学から昭和20年8月15日までの間では、勤労奉仕作業にでかけることもあり、最後は動員で軍需工場でも働きました。

伸び伸びと自由を享受して勉強やクラブ活動に励むことが出来る後輩たちの活動を見聞するのも、私達の時代を思い出し、羨ましくなります。

昭和20年8月15日の終戦を契機に、「自由」とか「民主主義」と言う言葉が巷に溢れてきましたが、これらの言葉の持つ意味するところをどれだけ理解し、実践しているのでしょうか。昨今の世の中の動きを見ると、一寸不安になります。

最近の社会の風潮は、少数意見を切り棄て、或いは力尽くで排除することに熱心になっていないでしょうか。

「お互いの命を大事にする」と言うことを常に考えて一致点を見付けるところに、民主主義の核心があるのではないかと思っていますが、皆さんどうでしょうか。何だかきき臭い雰囲気を感じる最近の社会の様子

を考えると気になります。特に若い皆さんに考えて頂きたいと思います。

（石松英幸 記）

53期だより

私たちはすでに喜寿を通過、同期生の集まりは毎月続いています。寄る年波になかなか意気が上がらないのが現状です。そんな中で、最近ちよつと嬉しいニュースがありましたので報告します。

同期の千々和久幸君が、この4月に日本短歌雑誌連盟から特別功労賞を受賞したことです。このことは5月20日の毎日新聞でも紹介されました。日本は短歌愛好者は数多く、また500近い短歌結社があります。彼が率いる「香蘭短歌会」は北原白秋の系列で、「香蘭」は発刊以来96年の歴史を有する月刊誌です。

彼は、1989年から15年間、機器・金具メーカーの責任者として熊本県山鹿に赴任しておりました。定年後、東京に戻り「香蘭短歌会」の代表に就任し、以来、全国の支部を強化し、短歌界の主要結社のリーダーとして第一線で活躍中です。現在には神奈川県平塚市に住んでいます。これまでに歌集5冊、詩集も4冊刊行しています。

いま一人は、日高敏夫君です。彼は2015年に「ベトナムに魅せられて」（桜美林大学北東アジア総合研究所）を刊行し、この本は後に日本図書館協会の推薦図書になりました。

彼はベトナムで経営コンサルティング業をしながら、その余暇にベトナムの少数民族の部落を訪ね、そのドキュメントを一冊の本にまとめました。

ベトナムには54の少数民族が国家から公認、保護されており、その集落には新聞記者といえども外国人は出入りできま

せん。彼は個人的な人脈を生かしてその部落を訪ね、その概要を時事通信社の「時事速報」にベトナム見聞録として毎月連載しており、その内容が新聞社や専門家の間でも高く評価され、それを貴重な写真と共に一冊にまとめて刊行したものが「ベトナムに魅せられて」です。

この本は全国の図書館に収蔵されており、その本は、興味のある方はぜひ手にとってご覧ください。

（小野亨雄 記）



意気軒昂 同期生活躍の証です
日高敏夫氏刊行「ベトナムに魅せられて」
千々和久幸氏率いる香蘭短歌会月刊誌「香蘭」

56期だより

60年ぶり、最初で最後の
クラス会、18名参加

昭和33年卒 3年1組 原 勝文先生
八十路を前に一度会いたい！お互いの顔が認識できる間に集まろう！そんな声を聞き、案内をしたところ、東京をはじめ、各地からなつかしい顔、顔：18名が集まりました。60年ぶりの再会に不安を感じ、卒業アルバムをコピーしてきた者も何人もいました。79歳の旧友を呼びすてし合う心地良

さにひたつた数時間でした。

（古賀信昭 記）



60年ぶり八十路の再会 平成30年10月27日(黒崎 公孫樹の木)

61期だより

61期生も、後期高齢者の仲間入り、昨年同期会の全体活動（名簿整備、61期だより発行、全体行事催行）について、所在判明350名にアンケートを致しました。回答144名、45%、活動継続70名、20%の結果でした。予想以上に、健康上、介護等の問題を抱えた方が多く、本年より、全体活動から各地区活動へ移行することとし、最終号の61期だよりを発行配布致しました。一年間の各行事を振り返ります。

・61期 総会・懇親会 平成30年10月25日 於 野の葡萄 男性20名 女性16名出席



平成30年10月25日 61期総会・懇親会(野の葡萄)

66期だより

鹿児島の旅

NHK大河ドラマ「西郷どん」が放映されていた平成30年10月16日から、1泊2日の日程で鹿児島へ旅行しました。66期温泉同好会の第5回目の企画で、九州本土最南端への旅となりました。参加メンバーは女性3名、男性13名の総勢16名で、このうち3名は、はるばる関東から参加してくれました。博多から九州新幹線を利用したところ、車中ではゆつくり話や飲食する暇もなく、1時間半後には鹿児島中央駅に着きました。今までの旅行は、貸し切りバスで移動することが多かったのですが、今回は鹿児島まで短時間で移動できたので、4時間コースの定期観光バスを利用することにしました。天候は曇りであったものの、城山展望台・桜島・仙巖園まで鹿児島の名所を回ることができ、特に桜島では山に雲がかかっておらず、桜島火山の全容を見ることができました。このような日は年間でも珍しいとバスガイドさんが話していました。



66期鹿児島の旅 仙巖園にて

で、参加者の日頃の心掛けが良かったのでしよう。仙巖園は「西郷どん」の相撲のロケが行われた場所でもあり、参加者に楽しんで貰えました。宿舎が天文館の近くの温泉宿でしたので、次の日は照国大明神(島津斉彬公)が祀られた照国神社まで徒歩で移動して参拝した後、近くの軍服姿の西郷さんの銅像にも会うことができました。ただ、我々も古希寸前の歳となり、新幹線の改札口をうまく通過できなかったり、宿への忘れ物、自由行動後の集合時間になってもなかなか集まらないなど、団体旅行が難しくなりそうな兆候が見え始めました。66期同期会は「頭と体が元気なうちに楽しみましょう」がモットーなので、互いに面倒を見ながら旅行を続けたいと思っています。来年は、ほとんどのメンバーが古希となりますので、三重県鳥羽に宿泊して伊勢神宮に参拝する旅の声をかけを始めたところです。(加来久幸 記)

69期だより

今年の東筑同窓会は69期にとって良い思い出となりました。記念ゴルフ大会で荒井泰雅、石神務、狩生信安、永井純浩各氏からなるチームが優勝を果たし、壇上で優勝トロフィーが授与され、荒井氏が流れるようなスピーチを致しました。実はこの優勝の件を私は承知していなくて、懇親会が始まると共に荒井氏が妙に高揚していてピールのピッチも普段より早いなど眺めていました。表彰式で69期の名前が呼ばれて、初めて事の次第を知り、スピーチは流れるようだったのではなく酔いで呂律が回らなくなっていたのだと納得しました。石神氏も校歌斉唱に際して、バンドでバスーン演奏を担当し同窓会に色を添えました。写真には平田龍司氏が見えますが、当日永井氏は欠席のため登壇していません。平田氏は母校

での教員退職後も同窓会の運営に携わっているのを、皆様ご存知のことと思います。また、母校野球部の試合の際は、バカッと開く携帯電話を用いて、試合に行けない同級生にメール実況放送を配信して、高視聴率と伺っています。球場で表わら帽に首にタオルを巻いた平田氏を見かけたらお声を掛けください。

同窓会の楽しみ方は色々ありますが、こうして積極的に参加する方や、年に一度の互いの健康を確かめに参られる方など様々であって良いかなと思います。

(末吉信之 記)



記念ゴルフ大会で優勝トロフィー授与、優勝スピーチ

70期だより

65歳を記念して、5月17・19日、2泊3日の日光・東京旅行を行いました。

初日、品川駅からバス2台で日光東照宮へ。東京組16人、関西組3人、九州組26人合わせて45人。輪王寺、東照宮陽明門、三猿、眠り猫、薬師堂の鳴き龍を見学。いろは坂を上り、中禅寺湖へ。男体山山頂は雲

- 福岡61期会 平成31年2月23日
於 海峯魯 男性4名、女性3名出席
深川氏邸花見 平成31年3月31日
男性5名、女性2名出席
雲仙温泉ぶらり旅
平成31年4月19・20日
男性12名、女性9名出席
4月19日 竹の子出発・潰蔵たぞう・祐徳神社(昼食)・太良わさび苑・雲仙仁田峠・雲仙温泉有明ホテル(泊・宴会)
4月20日 地獄巡り・雲仙大仏・小浜温泉海幸の里・杵の川酒造・諫早歴史館・割烹寿楽(昼食)・新泉堂(カステラ)・竹の子帰着
寛友会 令和元年5月25日
於 野々庵 男性16名、女性2名出席
東筑総会・懇親会 令和元年6月8日
於 アクティブリゾーツ八幡
男性10名、女性7名出席
・只今、喜寿の祝い旅を皆で計画中です。
(内山洋二郎 記)



が掛かっている。湯滝、竜頭の滝を見て、ホテル四季彩へ。途中合流者も含めて、総勢50人。温泉で疲れを癒し、ビールで軽く喉を潤し、旅館着姿で、宴会開始。湯葉会席料理を味わいながら、お喋り百花繚乱状態で一次会終了。二次会部屋になだれ込み、更け行く奥日光の夜にお喋りは続く…。

2日目、朝から青空。中禅寺湖菖蒲ヶ浜から遊覧船で歌ヶ浜まで。頬を撫でる5月の外気が気持ち良い。青空に映える男体山、雪を冠した白根山系が美しい。新緑の遊歩道を散策しながら、イギリスとイタリアの大使館別荘記念公園へ。イギリス大使館別荘記念公園は、幕末、明治維新時の外交官アーネスト・サトウの個人別荘として建てられ、後に大使館別荘として使われたものを、3年前に記念公園として開園したもの。湖畔の食事処で、ニジマス、ワカサギを味わい、日本三名瀑の一つ、華嚴の滝を見て、一路東京へ。ホテル西鉄イン日本橋にチェックイン後、銀ブラをしながら、総会

の場、銀座ライオンへ。ステンドグラス、レトロなインテリア。現存する日本最古のビヤホール。参加者は68人。北海道や仙台からの参加者も。元東筑校長の柴田晴夫君の挨拶から始まり、クラス毎のスピーチ、じゃんけん大会、東京学芸大名誉教授でオペラ歌手の大野徹也君の生歌、であつという間の2時間。2次会は岡松輝幸君行きつけの赤坂のクラブ。坂本良久君ご令嬢のピアノ演奏、カラオケで大いに盛り上がる。

3日目、バス1台で東京観光。35人。昨日に続き夏日の予報。車窓から、皇居、警視庁、最高裁判所などを見ながら、国会議事堂へ。三原議員の秘書様2名によるご案内。皆、興味津々、矢継ぎ早の質問に秘書様が丁寧に答えてくれた。ホテルニューオータニの食事処で、打ち立て蕎麦、親子重を味わって、井伊家の庭園だった日本庭園を散策した後、迎賓館へ。外観も室内も豪華絢爛。歩き疲れて、屋外カフェで一休みした後、徳川家墓所増上寺へ。江姫、和宮らの墓石、和宮の等身大の像、宝物殿を見学して、品川駅へ。手を振り振り、笑顔で解散。

栃木の自然を満喫し、東京を再発見し、歴史を感じ、友と語りあった、充実した3日間でした。

(安永敏彦 記)

79期だより

当番期から十年

われら79期が当番期を勤めてから、早くも十年が経過しました。79期は事務局長を務めてくれた中川靖啓さん(8組)の計らいで毎年2回、6月の同窓会後の二次会を兼ねた同期会と、年末か年始のどちらかに同期会開催を続けて来ています。今回6月の同期会にも18名の参加があり、楽しい

ひとときを過ごすことができました。

10年前の当番期から、みんなそれぞれ十歳年齢を重ね、還暦に手が届きそうな世代になりました。かわいい孫の話題が出たり、現役退職後の第二の人生についての話で盛り上がったたり、いくつになっても共感共鳴する話題に事欠かないのが、同期生ならではの良さだと思います。今年は船津喜久男さん(4組)が東筑ゴルフ大会で優勝という朗報もあり一段と盛り上がりました。

さて、一昨年の夏と昨年の春、野球部が甲子園に出場し、われらが高校一年の年に主将で活躍された青野先輩が監督として、夏春連続出場という偉業を果たし、母校全体に僥倖ともいえるひとときをもたらしてくれました。われら79期も関西近郊在住の同期生を中心にアルプススタンドで再会し、約40年ぶりに一緒に母校を応援できるという幸運にも恵まれました。われらにとっても、一年生の夏休みに行った甲子園の応援が忘れられず、一生の思い出となっています。この共通の話題がそれ以後の甲子園出場の際に、また、同期会ごとに必ず話題になっています。

これからも、年2回の同期会をみんなの協力でも一年でも長く続けていこうと思っています。それから、同窓会本会のテーブルが、79期は1台しか用意されていないので、来年からはぜひ2台へ！同期のみなさん、元気に集まりましょう。とても楽しいですよ。よろしく願います。

結びにこの十年間に他界された同期生の皆様の御冥福を心から祈りながら筆を置かせていただきます。

(常任幹事 藤井 潤 記)

82期だより

みなさん、こんにちは。我々82期の東筑会活動の一環として東筑ゴルフ部@関西を

紹介します。東筑ゴルフ部@関西とは、Facebookのグループ名です。

私自身は、福岡に家族を置き、単身赴任で大阪で仕事をしています。

私が関西に転勤したのは、関西東筑会の当番期が終わった直後の4年前の2015年7月でした。せっかくの同期のつながりを継続して盛り上げようということで、82期の関西のゴルフ定例会を行うようになりました。

当初は、年に数回でしたが、そのうちに毎月になり、一ヶ月に2回やることもあります。さらに82期だけでは飽き足らず、先輩方や後輩のみなさんにもご参加いただくようになっています。ゴルフ合宿と称し、泊まりがけのゴルフも淡路島でやりました。今年も8月にゴルフ合宿を兵庫県で企画しています。ただ、残念なことに土日しか休めないメンバーが多く、平日ゴルフはなかなか企画できません。

毎回8人から10人程度の集まりですが、自己研鑽の練習会ですのでスコア集計は行っていない。先輩、後輩含め高校時代には全くお付き合ひのなかった方々と、東



ゴルフを通して出会いと活動の場が広がれば
82期関西ゴルフ定例会

筑の繋がりで和気藹々と楽しんでいます。時には反省会の飲み会もやったりします。

関西のゴルフ場をメインにこれまで活動してきましたが、徐々に北九州に遠征？いや帰省してのゴルフもするようになってきました。昨年末には、周防灘CCで80期の先輩のコンペに82期から4名が参加しました。また、昨年10月と今年の4月に、82期の福岡ゴルフ会をチャサンCC遠征で行いましたが、それにも参加できました。

スコア自体は、まだまだ発展途上です。で人には言えませんが、ゴルフを通じ、出会いと活動の場が広がっていることが自分でも気に入っています。関西中心ですが、東筑ゴルフ部の輪を少しずつでも広げていきたいと思っています。

(藤丸頭二 記)

88期だより

私たち88期は、昨年の6月9日に北九州で東筑会総会ならび懇親会を、また10月27日に東京プリンスホテルにて東京東筑会懇親会を、当番期として運営と実施に携わらせていただきました。

北九州のある先輩からは「ここに来れば、また一年を頑張ることができる」という声を、また東京でお世話になったある先輩からは「すでに親もなく、もう帰るべき故郷がない我々にとっては、この東筑会こそが故郷なんだよ。君、分かるかい？(東筑)」という名を聞いただけで、涙が出そうになる想いに駆られることを」という声を頂戴しました。全国の諸先輩がこの東筑会を大切に護り、そしてそれぞれの地域で後輩を実に面倒よく可愛がる姿に、当番期としてタスキを受け継ぎ、そして次の当番期にこのタスキを引き渡すことの意味を、すなわち(東筑)という縁がつなぐ世代を超えた人と人との信頼(＝義理)と友情(＝人

情)の重さと大切さを実感しました。あの伝統のタスキの見た目以上の重さは、東筑の歴史と伝統であり、またそれ以上に東筑を母校とするすべての方々の故郷と母校を大切に想う心の結晶であったかと思っています。同窓あるいは同期という、人生において共同にして共有の過去と風景を有する関係だからこそ、ともに自身の生の本質を振り返ったとき、その姿を顕著に見て取ることができる時間がこの(東筑)であり、私達はこのことを東筑会懇親会で校歌が響き渡る中に感じ取っているのかもしれない。当番期を終え、今年の6月8日に初めてゆつくりと懇親会の会場全体の雰囲気を見渡しながら、東筑会がこのことを学ばせていただいたのだと気がつきました。全同窓の皆様に大変にお世話になりましたことを、あらためて衷心よりあつく御礼申し上げます。

(柴田泰山 記)



当番期を無事に終えて、はじめての東筑会懇親会

編集後記

東筑会報は、新元号「令和」元年、しかも節目の「40号」を発刊する運びとなりました。会報誌作成に協力いただきました東筑会や東筑高校関係者の皆様方には、心から感謝申し上げます。

さて、東筑会当番期の89期の皆様、数年前の準備から本番の運営まで、さぞ大変だったことでしょう。本当にありがとうございます。また、次期当番期である90期の皆様、伝統である「東筑魂」の継承をどうぞよろしく願います。

本誌面「各地区東筑会だより」では、15地区から投稿をいただきました。北は「北海道東筑会」から南は「ひのくに熊本東筑会」まで、それぞれの地域に根づいた東筑会があり、また地域に即した個性的でユニークな企画・運営なされています。総会・懇親会での楽しい時間等が、こちらまで伝わってくるようです。記事の内容からも、121年の伝統を築いてきた東筑同窓の強い絆を感じています。

筑への熱い思いや同窓の強い絆には深く感じ入るものがあります。これからは、人生100年時代を迎えますが、「東筑の絆」は我々の中でより強くしていきたいものです。その他の各期の皆様方の投稿でも、懇親会、旅行、ゴルフ大会、記念誌や機関誌の作成の他、様々な内容で、同期の絆を深められていることがわかります。

ところで、東筑高校の野球部の選手や監督として活躍された喰田孝一氏が今年3月に逝去されました。東筑野球部を春夏計3回も甲子園の導かれたその功績は大なるものがあります。母校は、県下のみならず全国からも「公立の雄」と称されるまでになっています。心からご冥福をお祈りします。

今年も野球部はノースードながら県大会のベスト4。「今年もひよっ」として甲子園か」と思わせてくれる大活躍でした。母校の躍進を県大会の終盤まで応援できるとい

うのは、同窓として本当に嬉しいものです。最後になりましたが、今後共「東筑会報」への積極的な投稿をお願いいたします。これからは「東筑同窓の絆の深め、読みやすい会報づくり」に力を入れていきたいと思っています。ありがとうございます。

これからの東筑会の情報はウェブサイトでチェック!!



- ・必要な情報はプリントアウトで即保管。
- ・懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- ・場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- ・同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp

新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

*個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 藤澤)